

「三重県 心のノート」活用事例

校種	小学校	学年	6年	内容項目	4-(7)
主題名	日本の美しさと俳句の心				
資料名	<ul style="list-style-type: none"> ・古きよき伝統 これまでも、これからも 松尾芭蕉 「三重県 心のノート 小学校5・6年」(三重県教育委員会) ・樗良句碑 「紀伊長島町史」(紀伊長島町史編さん委員会) 				
ねらい	松尾芭蕉と三浦樗良の俳句を通して、我が国の伝統と文化を大切にし、郷土や国を愛する態度を育てる。				
展開	学習活動と主な発問		指導上の要点		
	<ol style="list-style-type: none"> 1 俳句について知っていることを発表する 2 俳句・松尾芭蕉・三浦樗良について理解を深める 3 俳句のリズムや表現の良さを話し合う 「気に入った句を選び、その意味や選んだ理由を発表しよう」 4 俳句のよさを理解する 「昔から受け継がれてきている俳句のよさはどんなところにあるのだろう」 5 今日の授業についての感想を書き、発表する 「日本の伝統文化の一つである俳句について学んだ感想を書こう」 		<ul style="list-style-type: none"> ・導入で樗良祭での入選俳句を紹介する。 ・「三重県 心のノート」と「樗良句碑」を読む。 ・芭蕉、樗良の句10句を紹介しその中から自分の気に入った句を選び、その意味や選んだ理由について発表する。意味については教師が補足説明を行う。 ・俳句のよさについてグループで話し合い発表させる。 ・制限された字数の中で自分の思い、感覚、情景などを五・七・五にこめることでより一層美しさが引き立つということをおさえる。 ・日本の伝統文化としての俳句を意識させ感想を書かせる。 		
他の教育活動との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・三浦樗良祭(俳句作品募集)への参加 ・国語 俳句を作ろう 				
成果と課題	<p>俳句に触れ、一つ一つの言葉の意味や響きを大切にしていることを知り、今日までの長い年月にわたって、日本人の心に受け継がれてきたのかを考えることができた。日本中を旅し、日本の四季の美しさや日本人の心を俳句を通して描きたかったという松尾芭蕉についての理解を深めることができた。</p> <p>また、俳句を作ってみようという気持ちが生まれた。この取組を今後の郷土や地域学習につなげていきたい。</p>				